

一気合格を現実のものとするオリジナルテキスト。

合格へ導く工夫が満載です！

目次

1

特許法編

第1章 特許要件及び特許出願（29条～40条）
第2章 手続の補正・却下（17条～18条の2）
第3章 優先権・分割・変更等（41条～46条の2）
第4章 審査（47条～63条）
第5章 出願公開（64条～65条）
第6章 特許権の設定の登録・存続期間（66条～67条の8）
第7章 特許権・実施権（68条～99条）
第8章 権利侵害（100条～106条）
第9章 特許異議の申立て（113条～120条の8）
第10章 審判（121条～170条）
第11章 再審（171条～177条）
第12章 訴訟（178条～184条の2）
第13章 特許協力条約に基づく国際出願に係る特例（184条の3～184条の20）
第14章 総則（1条～16条、19条～28条）
第15章 特許料（107条～112条の3）
第16章 雑則（185条～195条の4）
第17章 罰則（196条～204条）

◆ 本テキストの章立てについて ◆

特許法編の章立ては、条文の章立てではなく、本テキストオリジナルの章になっております。

無断複製・頒布を禁じます

LEC東京リーガルマインド

画像はサンプルです。

1 学習経験者ならではの学習順
 テキストは単なる条文番号順ではなく、まずは論文試験に関連の深い特許要件や中間処理等の「理解系」条文から学習し、総則や罰則等の短答「暗記系」条文を最後の方で学習できるような構成となっています。この学習経験者ならではの学習順で、一気合格が現実のものとなるはずですよ。

2 関連する条文を掲載
 関連する条文を掲載しています。これによって、論文との並行学習を助け、効率的な学習を可能にしています。さらに、青本や基本書のなどの記載も盛り込みつつ、条文の規定を丁寧に解説しています。

3 場面を想定して学べる具体例
 具体例も示されているので、場面想定もしやすくなり、多様な問われ方に対応することができるようになります。

理解系から暗記系へ！こだわりの配列で一気合格を現実にするテキスト構成！

1

目次

2

第1章 特許要件及び特許出願

特許の要件（29条）

第29条 産業上利用することができる発明をした者は、次に掲げる発明を除き、その発明について特許を受けることができる。
一 特許出願前に日本国内又は外国において公然知られた発明
二 特許出願前に日本国内又は外国において公然実施をされた発明
三 特許出願前に日本国内又は外国において、頒布された刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明

3

ポイント

医療機器、医薬自体は、物であり、「人間を手術、治療又は診断する方法」に該当しない（特実審査基準第Ⅲ部第1章3.2.1(1)）。

4

意匠登録出願からの変更（2項）

→ 以下の(1)(2)の場合は、出願の変更をすることができない（2項但書）。
(1) 最初の拒絶査定謄本の送達があった日から3月経過後
(2) 意匠登録出願の日から3年経過後

5

【特許法・実用新案法】

■中間処理
1 特許出願人は、願書に添付した要約書について補正をする場合、願書に添付した明細書、特許請求の範囲又は図面に記載した事項の範囲内においてしなければならない。

6

メインテキスト以外にも、豊富なサブ教材で受験生の苦手分野をきめ細かにサポート！

11-1 提出部数

(a) 国際出願及び照合欄に明記する各書類（3.3(a)(ii)）は、(b)の規定に従うことを条件として、一通を提出する。
(b) 受理官庁は、国際出願及び照合欄に明記する各書類（3.3(a)(ii)）（支払った手数料の領収書又は手数料の支払のための小切手を除く。）について、二通又は三通を提出することを要求することができる。この場合には、受理官庁は、記録原本と他の一通又は二通との同一性を確認する責任を負う。

メインテキスト以外にも、豊富なサブ教材で受験生の苦手分野をきめ細かにサポート！

4

意匠登録出願からの変更（2項）

→ 以下の(1)(2)の場合は、出願の変更をすることができない（2項但書）。
(1) 最初の拒絶査定謄本の送達があった日から3月経過後
(2) 意匠登録出願の日から3年経過後

5

【特許法・実用新案法】

■中間処理
1 特許出願人は、願書に添付した要約書について補正をする場合、願書に添付した明細書、特許請求の範囲又は図面に記載した事項の範囲内においてしなければならない。

6

メインテキスト以外にも、豊富なサブ教材で受験生の苦手分野をきめ細かにサポート！

11-1 提出部数

(a) 国際出願及び照合欄に明記する各書類（3.3(a)(ii)）は、(b)の規定に従うことを条件として、一通を提出する。
(b) 受理官庁は、国際出願及び照合欄に明記する各書類（3.3(a)(ii)）（支払った手数料の領収書又は手数料の支払のための小切手を除く。）について、二通又は三通を提出することを要求することができる。この場合には、受理官庁は、記録原本と他の一通又は二通との同一性を確認する責任を負う。

4 視覚的に捉え、深い理解を得る
 ポイントを時系列や表などを用いて解説することにより、条文の内容を視覚的に捉え、理解を深めることができます。

5 NEW 『N式枝別問題集』で知識確認
 テーマごとの枝別問題でアウトプットも加えながらハイブリッドで講義を進行します。過去問ではない新作問題に触れることで、新鮮な気持ちで知識を完成させていただくことができます。

6 納富式工夫満載！
 頻出のPCTは、未出の問題が出る傾向が強いいため、出題が予想される規則を別冊のプラチナルールブック等を使用しながら知識の確認を行っていきます。

15